

歓迎花 それぞれの仏華展

仏華は、「その華、光明、無量種の色なり、青き色には青き光、白き色には白き光あり」（『仏説無量寿経』）と説かれるごとく、浄土の莊嚴を顕わし、かつ仏心の「清浄」すなわち清く穢れないことを具現していると言われます。それは私たちの日頃の欲に追われる「貪り」の姿に対比するものです。

「貪り」とはためこみ、とどめる、ということで、その反対が「清浄」であるならば、うつりかわり、とどまることなく、流れていくことが「清浄」ということでしょう。このまま、今のまますを許さないということが、清らかで穢れないものとして表現されているのが、生花を用いる仏華なのです。

このたびは、当慶讃法要の「歓迎花」として、全国の有志による仏華を展示いたします。お寺や地域に大切に伝承されているもの、個人の感性によって美を追求したもの、それぞれの仏華を味わい、愉しんでいただけたら幸いです。

展示場所：地下視聴覚ホールロビー・和敬堂ロビー

昼食会場（昼食をその場所でとる方のみ御覧いただけます）



出展者のご紹介 (五十音順)

梶井寿雅子 (岐阜大垣・蓮徳寺坊守)

当派の仏花は池坊立花を発生とすることから、華道池坊を長く学ぶ中で、坊守として仏花を考え、花展に仏花を出展する活動をしてきました。その中で、日常の仏花が手近な花材で立てられ、花の差し替えや注水が容易にと考案したのが仏花受筒「華峰寿」(実用新案)です。ジャータカ誌で一時期紹介されました。現在、大垣別院報恩講立花、近隣教区での仏花講習会に出講する他、自坊にて華道教室(週2回)、立花・仏花教室(月1回)を主宰しています。

高田教区仏華の会 (新潟)【前期のみ】

高田教区の有志の僧侶を中心とした仏華のグループです。主に高田別院で勤まる報恩講、春の法要の仏華を立てています。四季折々の生花を用いながら、「お荘厳としての仏華とは」ということを皆で考えることを大事にしています。仏華に興味がある教区内の方々にもお越しいただき、一緒に準備をしながら色んなことを語り合える場になっています。

高名和丸 (青森・正行寺)

境内に植えている木を基本的な花材として、日常の仏花や報恩講の仏花などを立てています。会とかは組織していません。地域的に冬季には本堂の花が凍結するので、正行寺流で仕掛けや花材を工夫して、凍結しても全く問題のない花を立てています。津軽弁で言う「もつけ」で、公共ホールで実施された奥羽教区(当時)宗祖750回御遠忌法要の際には、高さ5メートルの五具足の立花なども手掛けました。

ちいちの華 (大阪)

私たちは、主に大阪教区の僧侶をメンバーとした仏華の研究会です。移りゆく季節感を味わい、ひとつひとつの役枝やお花を大切に扱う池坊の立華を踏まえつつ、楽しくそして気軽に立てられるよう工夫し、私たち一般寺院の本堂に見あった仏華を研鑽しています。主な活動としては教区内別院(難波・天満・茨木)の報恩講の立華、御遠忌・落慶法要等への出張立華、ならびに仏華講習会への講師の派遣などを行っています。ユーチューブやフェイスブック、インスタグラムでも発信していますので、ぜひご覧ください。

池中蓮華 -chichūrenge- (京都・滋賀)【後期のみ】

私たち池中蓮華 -chichūrenge- は『御荘厳』に関心のある者が、いつの間にか集まったグループです。主に滋賀、京都の一部で細々と活動しています。素人の集まりですので、その都度、右往左往しておりますが、今回のご法要に際し、ご縁に恵まれて、お育ていただきますことを喜んでおります。

はちす会 (京都)

京都教区の坊守有志から成る仏花学習会です。毎月1回、ちいちの華の先生方から仏花の立て方を学んでおります。私たちは仏花のお稽古を通して、お寺ならではの悩みをポジティブに話し合える気楽な仲間づくり、居場所づくりをしています。仏花プラスお喋りの場です♪ 仏花を立てたいけど、なかなか最初の一步が踏み出せないなあ……という方が、私たちの活動を知ることでもう少しでも「立てられるかも！」と勇気を持っていただけたら嬉しいです。

吉田好男 (岐阜・高須別院花講世話役)

岐阜県大垣市(上石津町)の山間部に古くから伝承されてきた仏花の様式や技法を継承して約35年間お花を立ててまいりました。近年は造花の仏花が多くなる中で、本物のいのちが持つ美しさや意義を感じてもらえるよう、法要の軽重や趣旨も踏まえつつ、松一式から季節の花の挿し交ぜまで、四季折々の山野の草木を用いて1瓶1瓶を大切に立調しております。

吉野なおみ (大阪・南溟寺衆徒)

私は得度してまだ四年足らずの一門徒です。この度、生け花の経験やフローリストの仕事で慣れ親しんだお花をご縁として、この仏華展に出展させて頂くことに心より感謝しております。お寺では法要の仏華を立てさせて頂いたり、地域の皆様に向けて月に一度、“自由仏花の会”も開いています。お花のいのちを通じて、世に仏法を広める一助となればと、日々微力ながら活動しています。

了華会 (三重・了圓寺)

10年ほど前より月1回の仏華教室を本堂で開催しています。私たちのお花は池坊をもとし、代々の華方さんにより伝承された地域に伝わる仏華です。活動は会員各自のお内仏の仏華をはじめ、了圓寺や近隣寺院の報恩講や永代経などの華を立てさせて頂いています。近年は桑名別院の報恩講、そして昨年は桑名別院のお待ち受け法要のお華も立てさせて頂きました。今回は松と伊吹の除真です。季節の花材を使いながら長持ちするように心がけました。伊吹は栖木の所々にも新芽が立ち伸びるので、その姿を表現しました。

代表者：出口政春

